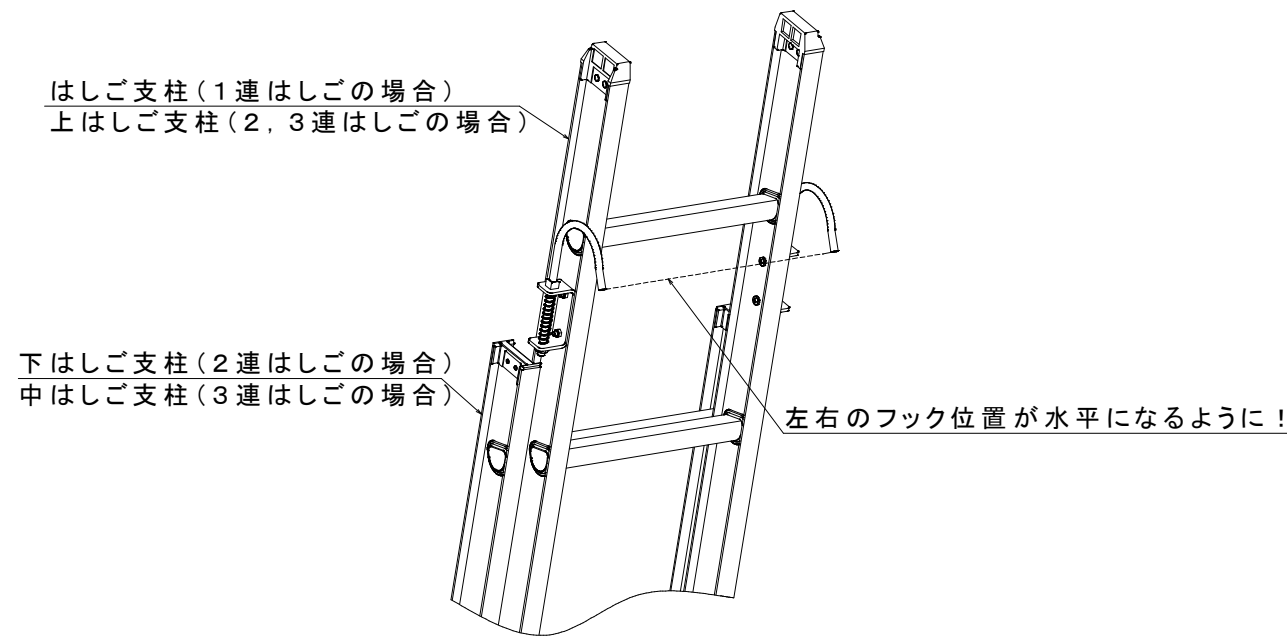


F-UJ/自在フック 組立・取扱説明書

このたびは、本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。
 この組立・取扱説明書は、本製品の取付かたと、使用上の注意事項について記載しています。取付け作業の前には、必ず、この組立・取扱説明書をよくお読みいただき、事故が起こらないよう内容にしたがって正しくお使いください。
 また、お読みになった後も、この組立・取扱説明書をすぐに取り出せる所へ、大切に保存してください。

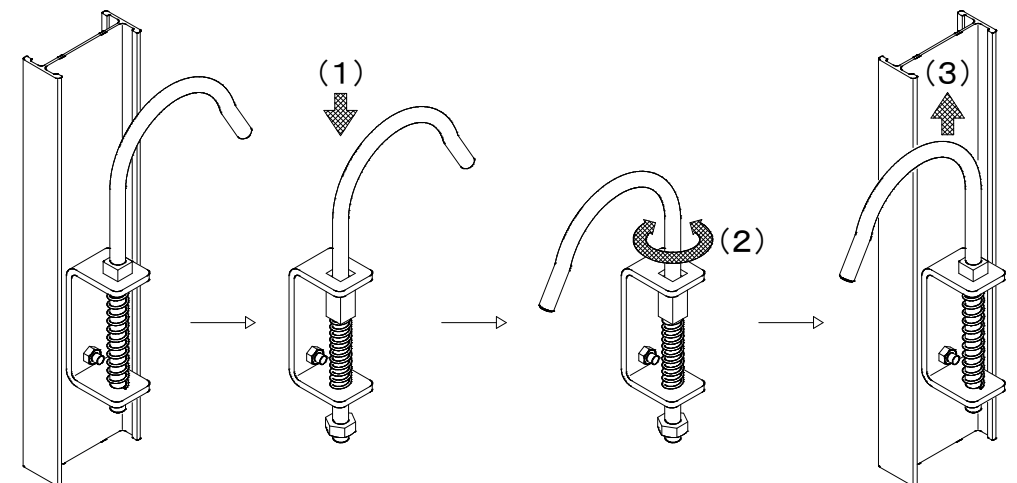


(図3)

※フックは、“3.【フックの取付け位置】”にしたがい、お客様の使用用途に合わせた任意の位置に取付けてください。
 ※はしごを使用する時は、フックがしっかりと固定されていることを確認して使用してください。
 ※フックは図3のように正しい状態でお使いください。フックの向きが逆向きや横向きの状態では、フックを使用しないでください。また、はしごをフックで吊り下げた状態では絶対に使用しないでください。

5. 【フックの操作方法】

- (1) 矢印の方向へフックを押し下げてください。
- (2) そのまま回転させてください。(フックは90°ずつ、360°回転させることができます。フックをはしごに取付ける位置によっては、180°しか回転出来ない場合もあります。)
- (3) 押し下げたフックを元に戻してください。



ピカ コーポレーション

本社 〒577-0013 大阪府東大阪市長田中 4-4-10
 ナビダイヤル 0570-064065(土日・祝祭日を除く 9:00~17:00 まで)
 ホームページアドレス <http://www.pica-corp.co.jp>

※本書の無断転載を禁じます

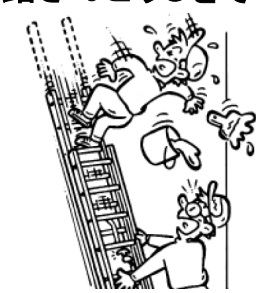
Part No.735060101497
 P1303

⚠危険 設置するときや、持ち運ぶときは、配電線に注意してください。



この製品は電気を通しますので、配電線に触れると感電し、重大な事故につながる危険があります。

⚠警告 本製品を2連はしごに取付けて使用するとき、上はしごと下はしごの踏ざんどうしを固定してください。また、本製品を3連はしごに取付けて使用するとき、上はしごと中はしご、及び中はしごと下はしごの踏ざんどうしをそれぞれ固定してください。



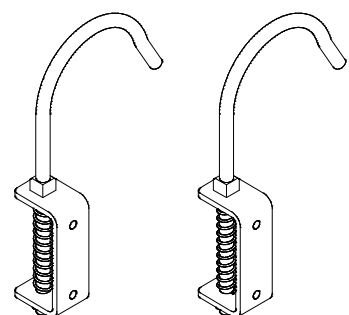
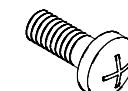
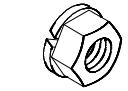
踏ざんどうしを固定しないと、使用中にロック金具が外れ、上はしごや中はしごの落下によって重大な事故を起こす恐れがあります。

⚠注意 本製品を2連はしごや、3連はしごに取付けた状態で上はしごを縮めるときは、慎重に縮めてください。



ロック状態でないときにロープから手を離すと、上はしごが落下し、変形や破損の原因になります。ロープをしっかり持って、慎重に縮めてください。

1. 【部品表】

品番	部品名称	形状/寸法	数量
①	自在フック	 <p>※フック部は回転するので右用左用との区別はありません。 左右の支柱どちらにでも取付けていただけます。 (回転方法は、“5.【フックの操作方法】”を参照下さい。)</p>	2個
②	十字穴付なべ小ねじ	 <p>M6 × 16</p>	4本
③	スプリングナット	 <p>M6</p>	4個

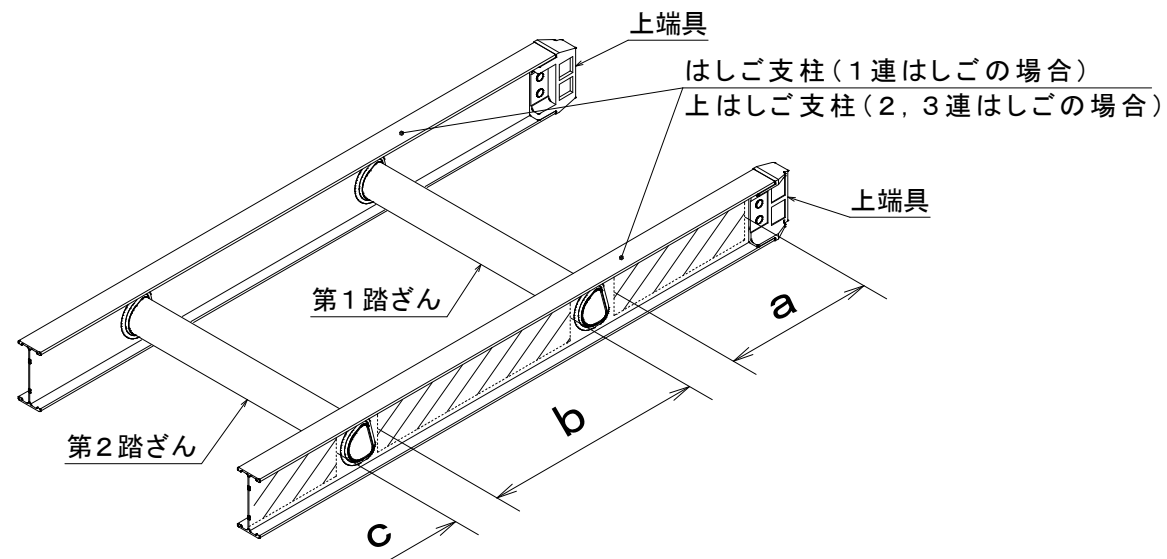
2. 【必要工具】

F-UJ フックの取付けには、下記のものをご用意ください。

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| (1) 電気ドリル | } はしご支柱の穴明け加工に使用します |
| (2) キリ(ドリル) φ6.0～φ6.5 mm | |
| (3) プラスドライバー | } フックの取付けに使用します |
| (4) スパナ(M6用、呼び10) | |

3. 【フックの取付け位置】

フックを取付ける位置は、次のページの注意事項を参考に図1のa, b, cいずれか任意の位置に、用途に合わせて取付けてください。



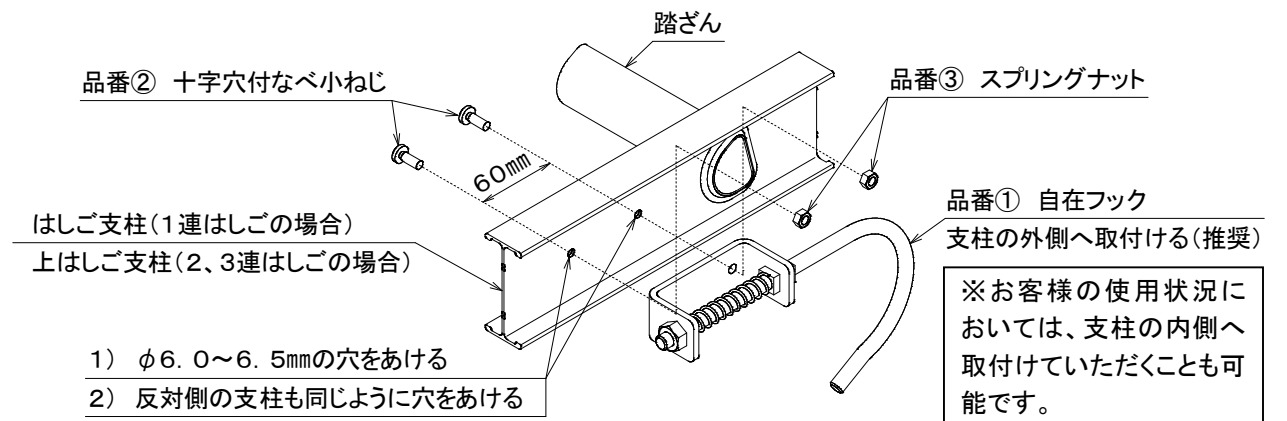
(図1)

《注意事項》

- 左ページ図1のはしごは、ALF型又は3PRO型のはしご支柱をあらわしています。
- 1ALF、LLW、LLS、SWJ型は、図1のaの位置には取付けられません。
- フック取付けに使用するスプリングナットは、戻り止め効果のある構造のナットです。ねじこんだ時にきつく感じますが、工具を使ってそのまま最後まで締め付けてください。
- 使用する予定の位置にフックを取付けた場合、はしごとして使用上の支障はないか、2連、3連はしごの場合は、はしごの伸縮に支障はないか、穴をあける前にご確認ください。
 - 2連、3連はしごにフックを取付ける場合、フックを取付ける位置によっては、はしごを最後まで縮めることができなくなります。
 - 2連、3連はしごにフックを取付ける場合、フックを取付ける位置によっては、はしごを縮めた時フックが回転収納できなくなります。
 - SWJ型にフックを取付ける場合、フックを取付ける位置によっては、手すりソケットに干渉しフックが回転収納できなくなります。

4. 【フックの取付けかた】

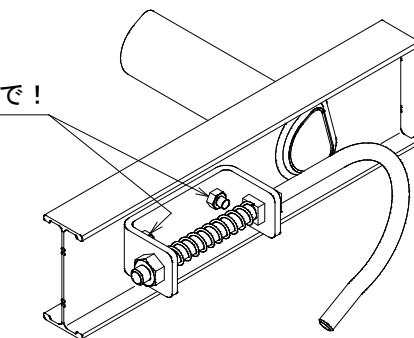
- 左ページの図1より、フックを取付ける“任意の位置”に、φ6.0～φ6.5mmの穴を60mmのピッチで2つあけてください。
- 反対側の支柱にも、左右のフック位置が水平に取り付く(次ページ図3)ように、左右支柱の同じ位置に穴をあけてください。
- 図2のように付属の十字穴付なべ小ねじとスプリングナットで、フックを確実に取付けてください。



- φ6.0～φ6.5mmの穴をあける
- 反対側の支柱も同じように穴をあける

※お客様の使用状況においては、支柱の内側へ取付けていただくことも可能です。

3) ナットの締め付けは最後まで!



(図2)